

～お伊勢さんゆかくの三大詩歌人の足跡を往く～

1	テーマ	西行～歌枕の地 二見浦を時空を越えて旅する～		
	ルート名称	拠点施設	全行程	所要時間
「歌人 西行」追想の道	賓日館	約 5.3 km	約1時間40分	
A 賓日館 → B 夫婦岩・二見興玉神社 → C 松林・清渚 → D 御塩殿神社				
↓				
E 夫婦岩表参道 → F 音無山 → A 賓日館				

西行 -さいぎょう-
 (1118~1190 和歌山県紀の川市竹房出身)
 院政期から鎌倉時代初期にかけての僧侶・歌人。
 父左衛門尉佐藤康清、母源清経女。
 俗名 佐藤義清(さとう のりきよ)
 法号は円位ともする。
 晩年の足掛け7年間、二見の安養山に草庵をかまえ
 「二見浦百首」を勧請した。

「波越すと 二見の松の見えつるは 梢にかかる霞なりけり」



【 A 賓日館 】

昔ながらの木造3階建ての旅館や土産店の建ち並ぶレトロな雰囲気の街並みである。



【 A 賓日館 】

1887年(明治20年)に神宮参拝の賓客の休憩・宿泊施設として建設され、現在は資料館・イベントなどの交流の場として活用されている。



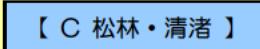
【 B 夫婦岩・二見興玉神社 】

海中にある興玉神石の鳥居の役目で、岩にかかる大注連縄は神の世と俗界の結界の縄とされている。夏至には朝日が、冬至には満月が夫婦岩の間から昇る。



【 F 音無山 】

標高約120mの山で伊勢三郎義盛の館があったといわれ「三郎山」とも呼ばれている。また、展望台・遊歩道がありハイキングコースとして親しまれ、桜の名所でもある。



渚百選に選ばれた景勝地で、夫婦岩から西には海辺に沿って樹齢百年を越す松林が続いている。